

開催日：平成30年11月20日(火)

平成30年度

第1回白井市放課後子どもプラン
推進委員会

白井市教育委員会生涯学習課
社会教育班 主事 豊田有菜

本日の内容

- はじめに
 - ～白井市放課後子どもプラン推進委員会について～
- 白井市の放課後子ども教室の現状について
- 放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体化について
- その他

・はじめに

白井市放課後子どもプラン推進委員会設立の経緯
国が策定した「放課後子ども総合プラン」を基に設立

放課後子ども総合プランとは・・・

趣旨・目的 共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するために策定された

全ての児童が放課後等を安全・安心で過ごして、多様な体験・活動を行うことができるようにする

目標 全ての小学校区で、放課後児童クラブと放課後子供教室を一体的に又は連携して実施 → 一体型は1万か所以上

国が策定した従来の「放課後子ども総合プラン」の中には・・・

市町村行動計画に盛り込むべき内容

- 放課後子供教室の整備計画
- 一体型の目標事業量、具体的な方策
- 教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策
→双方が責任を持つ仕組みとなるよう、適切な体制づくりに努めること

国が策定した「新・放課後子ども総合プラン」(平成30年9月)

新たな目標

- 全ての小学校区で両事業(放課後子ども教室と児童クラブ)を一体的に又は連携して実施
- 小学校区内で一体型を1万箇所以上実施

(別紙参照)放課後子ども教室と放課後児童クラブの違いについて

○放課後子どもプラン推進委員会の設置目的(別紙)

○放課後子どもプラン推進委員会の役割

白井市第5次総合計画 後期実施計画(2021~2025)
に向けた基本方針の検討

・白井市の放課後子ども教室の整備について検討

・白井市の放課後子ども教室の現状について

○運営主体

白井市教育委員会

○開設場所

3箇所(白井第二小、大山口小、中木戸公園)

○地域協力者

コーディネーター

教室プログラムの企画・教室の準備・運営、連絡調整、打ち合わせ

安全管理員

子どもたちの安全の見守り

学習アドバイザー

子どもたちへさまざまな学びを教える

○各教室について

白井第二小学校

開催日：毎週木曜日 午後3時から5時まで

地域協力者：コーディネーター 4名、安全管理員 6名（各回2名ずつ）

場所：白井第二小学校 図書室

（体育館、校庭、家庭科室の場合あり）

参加者：18名（登録制、募集人数30人定員）

帰宅方法：保護者のお迎え

内容：スポーツ、創作、調理等

特徴：全てのプログラムをコーディネーターが検討している

セキュリティ面の整備

福祉活動、世代間交流、学習アドバイザー等への「お礼の会」
の開催

○各教室について

大山口小学校

開催日：第2、4木曜日 午後3時から4時30分まで

地域協力者：コーディネーター 3名、安全管理員 16名

場所：図工室、体育館

参加者：30人（登録制、1年生対象、募集人数30人）

帰宅方法：地域協力者による送迎

内容：体を動かすプログラム（体育館遊び）

特徴：子どもたちの体力づくりと共に自由遊びを通して自主性を育む
礼儀を学ぶことも大切にしている

児童1人1人を自宅の玄関まで届け、保護者に引き渡している

○各教室の特色(別紙参考)

中木戸公園競技広場

開催日:毎週月曜日 午後3時から5時まで(日没に合わせて短縮)

地域協力者:コーディネーター 2名、安全管理員 4名

(各回 コーディネーター 1名、安全管理員 3名)

参加者:非登録制(対象:市内小学校児童)

参加方法:放課後に自宅に帰宅後、公園に行き参加する

低学年の児童参加の場合は上級生が一緒か保護者の

付き添いが必要

内容:広場に設置しているボール等を使った自由遊び

特徴:近年、公園でボールの使用が禁止されている中、当子ども教室では地域の方に見守られながらボールを使って、思いっきり遊ぶことができる

他の学校の児童と交流することができる

- ・白井市の放課後子ども教室と放課後児童クラブの
一体化について

- 一体化とは・・・(別紙参照)

同一の小学校内等で両事業を実施し、全ての児童が放課後子供教室の活動プログラムに参加できるもの

○平成31年度から白井第二小学校で一体化の取り組み開始

放課後子ども教室について

対象 第二小学校に通っている児童

(放課後児童クラブに参加している児童が放課後子ども教室の参加も希望する場合は受け入れる)

人数案 上限30人

参加方法案 児童クラブ加入者が参加する場合、子ども教室の開催場所まで移動する

保険案 児童クラブ加入者も含め参加者全員から集金する

地域協力者案 子ども教室、児童クラブそれぞれ別に配置する

情報共有: 実行委員会に児童クラブスタッフも出席する

○白井市放課後子どもプランの今後の方向性

目標

市内全ての小学校区で放課後子ども教室の展開

参考

「放課後子ども教室アンケート調査」(別紙)

実施時期:平成30年9月

対象:市内各小学校1・3・5年生 保護者(回答者数 1,133人)

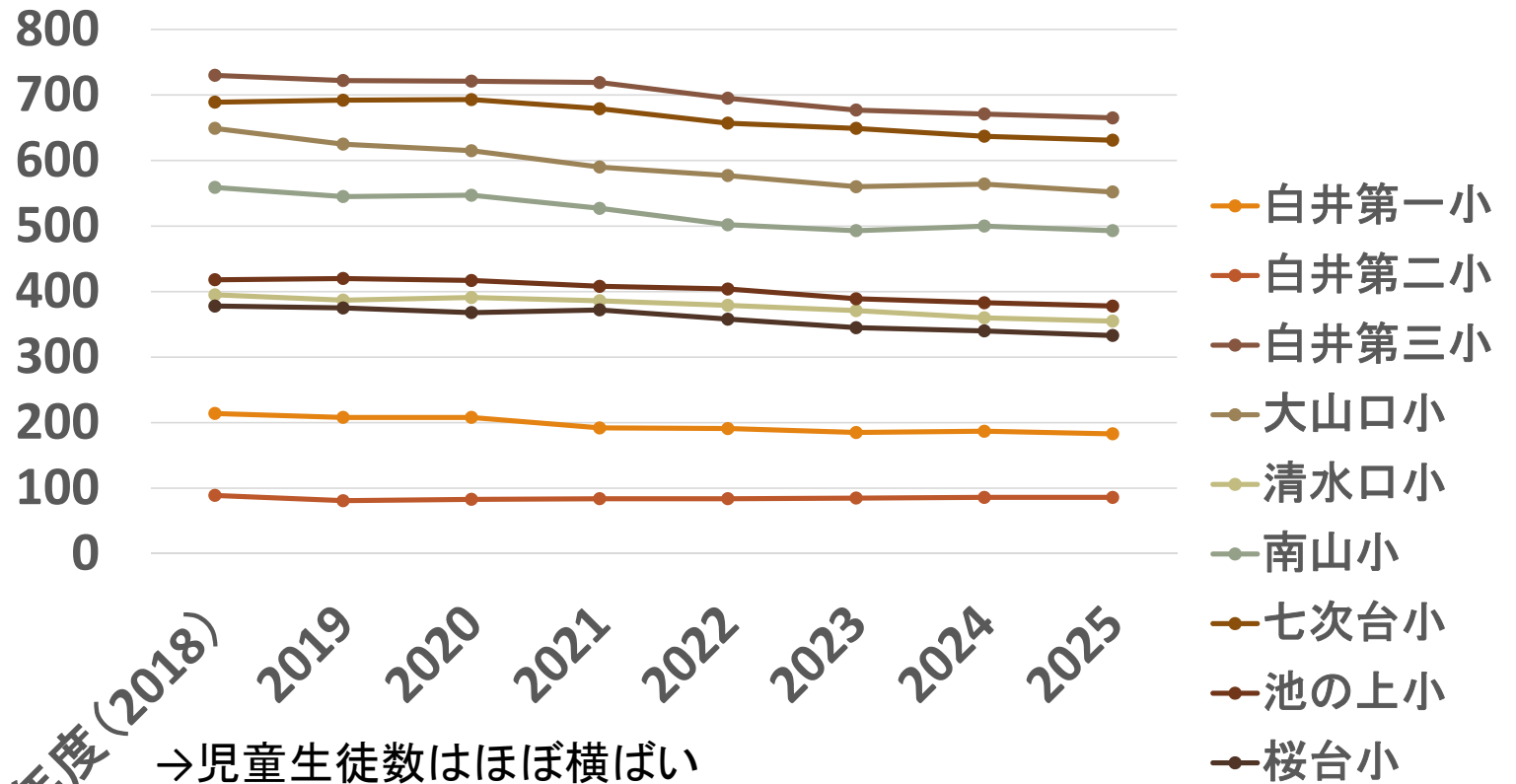
結果 放課後子ども教室に参加させたい **約86%**

白井第一小	90%	白井第二小	72%	白井第三小	83%
大山口小	88%	清水口小	85%	南山小	89%
七次台小	83%	池の上小	82%	桜台小	92%

○白井市放課後子どもプランの今後の方向性

- ・既存施設の有効活用
小学校

白井市 児童生徒数の今後の見込み



平成30年度(2018)

→児童生徒数はほぼ横ばい
2021年から若干減少傾向

→この結果から空き教室の状況を想定し、子ども教室の新規開設時期を検討する必要がある

○白井市放課後子どもプランの今後の方向性

参加人数の検討

各学校の生徒全員を対象とした場合・・・

学校	生徒数	必要部屋数		コーディネーター (部屋数×2人)	安全管理員 (部屋数×3人)
		1部屋	30人規模		
白井第一小	208	7		14	21
白井第二小	89	3		6	9
白井第三小	730	25		50	75
大山口小	649	22		44	66
清水口小	395	14		28	42
南山小	559	19		38	57
七次台小	689	23		46	69
池の上小	418	14		28	42
桜台小	378	13		26	39
合計	4121	140		280	420

必要となる部屋、コーディネーター、安全管理員の確保が難しい

○白井市の今後の方向性

参加人数の検討

各放課後子ども教室 30名程度と想定すると・・・

学校	必要部屋数 1部屋 30人規模	コーディネーター (部屋数×2人)	安全管理員 (部屋数×3人)
9校	9部屋 各校1部屋ずつ	18	27

今後に向けてスタッフの確保が必要となる

必要スタッフ数 計45人

参考

保護者対象にスタッフ協力の意向確認(「放課後子ども教室アンケート調査」より)

結果

積極的に協力 10人
できるかぎり協力 138人

→積極的な宣伝で効果がでる可能性はある
→放課後子ども教室自体を知らない人が60%
まずは知ってもらう必要がある

○白井市の今後の方向性(案のまとめ)

目標・・・市内全ての小学校区で放課後子ども教室の展開
2021年に策定する後期実施計画に方針を盛り込む
→2021～2025年の間に未設置の小学校の開設を目指す

参加人数・・・各教室 30名程度(低学年1～3年を優先する)

運営方法・・・白井第二小学校を基本モデルとする
理由:プログラム内容が多岐にわたり、集団の中で様々な体験活動を行うことができるため

スタッフ登録数・・・コーディネーター 5名(各回 2名)
安全管理員 6名(各回 3名)

課題

地域協力者の確保

- ・放課後子ども教室推進に向け必要となる

場所

- ・小学校の施設の活用(空き教室、セキュリティ面)
- ・その他(公民館、自治会館など)
(小学校から移動による安全面、下校時の保険)

○その他

今後のスケジュール

次回会議

開催日：来年2月頃

内容：白井市放課後子どもプランの今後の方向性について検討
後期実施計画策定に向けて放課後子ども教室の運営方法等

来年度以降の会議

年2回開催

内容：2021年に策定する後期実施計画の検討

おわりに

放課後子どもプラン推進委員会は今年度から新たに設立した委員会です。

当委員会では放課後子どもプラン推進に関して方針を決め、計画策定に向けて検討していきます。

委員の皆様、今後ともご協力をお願いします。